

## 『飲酒実態やアルコール依存に関する意識調査』を実施しています

研究課題名：飲酒実態やアルコール依存に関する意識調査

研究機関および研究代表者：独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 副院長 木村充

### <この研究の目的と方法>

現在、当センターでは厚生労働省からの補助を受けて「依存症に関する調査研究事業」を実施しています。この事業の一環として、アルコール健康障害に関する施策の立案や、今後の見直しのために必要な基礎資料を集める調査を実施することが求められています。そこで、我々は、インターネット調査会社にモニター登録されている方のうち、日本国在住の20歳～75歳の男女を対象として、飲酒習慣やアルコール問題への意識やお考えを50問程度の自記式アンケートを実施させていただくことになりました。なお、この研究全体の実施期間(調査開始から結果の公表まで)は、2023年1月～2026年3月31日を予定しています。

### <本研究で期待される成果>

本研究によって、わが国のアルコール健康障害対策に関する施策立案や政策評価のための基礎資料が得られることが期待されます。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### <調査対象者への倫理的配慮>

この調査は、無記名式(匿名)です。調査対象者がこの調査に回答することの負担として、10分～30分程度(個人差があります)の回答所要時間が生じること、さらに質問に答えることで精神的な疲労を感じることもあるかもしれませんが、答えたくない質問には答えなくても構いませんので、ご無理のない範囲でお答えいただければ結構です。このアンケートに協力はするかしないかは、調査対象者の自由意思によって決められます。一度同意した後も、途中でいつでもやめることができます。また、このアンケートに協力しなくても、途中で回答するのをやめても、調査対象者に一切不利益はありません。

### <この研究で得られた情報の管理>

回収後のアンケートの回答データは、インターネット調査事業者より匿名加工情報として当センターに提供され、最終的に独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター内の施錠された部屋でカギのかかる引き出しに厳重管理されます。回答結果は個人が特定されない状態で集計され、この研究の目的のみに用いられます。回答データは電子記録媒体にて、研究終了後から10年間保管されます。その後は速やかに廃棄されます。また、本研究の成果は学術集会や論文等で公表されます。この調査は、独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長の許可および、久里浜医療センター倫理委員会の承認を得て実施しています。この研究では個人情報取得しません。なお、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で本研究に関するプロトコル及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することが可能です。ご希望の場合は下記の照会先までご連絡ください。

### <照会先>

- このアンケート調査対象者の皆様は、株式会社マクロミル にお問合せください。
- 上記の方以外：この調査の実施全般に関するお問い合わせは、下記までお問い合わせください。  
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 臨床研究部  
電話：046-848-1550 (8:30～17:15)